



2021年10月6日

会社名 株式会社 コックス

代表者名 代表取締役社長
兼デジタル推進本部長 三宅 英木
(コード番号: 9876 JASDAQ)
問い合わせ先 常務取締役 経・物流本部長 高橋 英伸
(TEL: 03-5821-6070)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の通期業績予想について、2021年4月9日に発表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,400	100	120	△50	△1.81
今回発表予想 (B)	13,400	△1,200	△1,180	△1,700	△61.57
増減額 (B-A)	△5,000	△1,300	△1,300	△1,650	—
増減率 (%)	△27.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	16,309	△691	△594	549	19.89

2. 修正の理由

2022年2月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が2022年2月期までには緩やかに収束し、当社が出店している商業施設の休業及び営業時間短縮地域の拡大などの再度の社会的制限については、想定・反映をせず、業績予想値を公表いたしました。

しかしながら、2021年1月に緊急事態宣言が発出された後、解除と再発出及び期限の延長が行われ、8月末時点において、21都道府県で緊急事態宣言が発出された状況が続いています。当第2四半期連結累計期間においても、主要都市における商業施設の休業、週末限定での休業、また、営業時間の短縮が行われ、来店客数の減少が続き、売上高への影響がありました。

そうした厳しい状況の中で、客単価の向上策及び仕入コントロールによる売上総利益率の改善及び在庫の削減、販管費の削減に取り組んで参りましたが、業績を回復するまでには至りませんでした。

下半期以降の経営環境につきましては、9月末日に緊急事態宣言が解除され、経済活動の規制は緩和される方向で進んでいますが、消費環境については、緩やかに回復することを想定しています。更には、2021年1月、2月に発生した新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動の制限の実施までは、想定をしておりません。また、経営環境の前提を踏まえ、当連結会計年度の在庫評価や固定資産の減損会計等についても再見積りを行ってまいります。

こうした想定及び直近までの業績動向を踏まえ、売上高、利益とも前回予想を下回る見込みとなりましたので、連結業績予想を修正いたします。

なお、第3四半期以降においては、販売力強化のための営業組織の見直し、売上総利益率改善のための販促政策の見直し、販管費の更なる削減に努め、業績改善に向けての取組みを引き続き行って参ります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上